

特集 5 着床障害の検査

生殖補助医療（ART）において、良好胚を複数回にわたって胚移植しても妊娠しない反復着床不全（着床障害）が大きな問題となっている。着床障害の子宮側の原因に関して、子宮鏡や免疫組織学的検査、次世代シーケンサー（NGS）技術の進歩などにより少しずつ明らかとなり、子宮内環境を改善することで妊娠転帰が改善されることが示唆されている。

本稿では、慢性子宮内膜炎（CE）の検査、子宮内細菌叢（フローラ）検査、子宮内膜胚受容能検査（ERA）について紹介する。

キーワード

着床障害, 慢性子宮内膜炎 (CE),
子宮内細菌叢 (フローラ),
子宮内膜胚受容能検査 (ERA)



ふくい やまと
福井 大和

東京大学大学院医学系研究科
産婦人科学講座 /
虎の門病院 産婦人科

共著



ひろた やすし
廣田 泰

東京大学大学院医学系研究科
産婦人科学講座 准教授

語句解説

特集
対談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

特集
6

特集
7

ホット・
World News

最新
トピックス

徒然なる
ままに。